

令和5年度 全国学力・学習状況調査



— 取手市の児童生徒の学習状況について —

取手市教育委員会 指導課

令和5年4月18日(火)に全国一斉に行われた、全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。今回の結果をもとに、取手市立の児童生徒の学習状況を掲載します。

なお、この調査は学力の一部をはかるものであり、学力のすべてを示すものではありません。

【調査対象】

小学校6年生、中学校3年生



【調査内容】

①教科に関する調査

(国語、算数・数学、英語(中3のみ))

②生活習慣や学習環境に関する調査

(質問紙)

国語

【小学校】

問題数 全14問

【中学校】

問題数 全15問

英語

【中学校】

問題数 全17問

算数・数学

【小学校】算数

問題数 全16問

【中学校】数学

問題数 全15問

質問紙

【小学校】 59項目

【中学校】 72項目

取手市立小学校 国語の結果



成果がみられたところ

- ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる力 (情報の扱い方に関する事項)
- ◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける力 (読むこと)
- ◎文章の種類とその特徴について理解する力 (言葉の特徴や使い方に関する事項)

課題となったところ

- ▲文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力 (読むこと)
- ▲目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる力 (話すこと・聞くこと)
- ▲日常よく使われる敬語を理解する力 (言葉の特徴や使い方に関する事項)

今後の学校教育の中で

- ◆文章を読み、事実や根拠に基づいて自分の考えをまとめることができるようにする。
 - ・必要な情報を選び、条件に沿って答えているだろうか？
→複数の情報を比較したり、関連付けたりし、既にもっている知識や経験と結び付け、自分の考えをまとめ、書く活動を設定する。
- ◆目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えをよく理解して、自分の考えを話すことができるようにする。
 - ・目的意識をもって聞き、内容を踏まえて考えているだろうか？
→話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて聞き、その内容を踏まえて自分の考えと比較・整理して話したり書いたりする活動を行う。
- ◆日常よく使われる敬語を理解し、使えるようにする。
 - ・敬語を理解し、適切に使っているだろうか？
→尊敬語と謙譲語について語彙を増やすと同時に、敬語を使う場合、その役割や必要性を自覚できるよう、役割演技を取り入れたり、インタビュー等の場面を録画して見返したりする。
→相手や場面に応じて適切に使えるよう、日常生活の実際の場面を通して意識付ける。

取手市立中学校 国語の結果



成果がみられたところ

- ◎聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめる力
(話すこと・聞くこと)
- ◎漢字の行書の読みやすい書き方について理解する力
(我が国の言語文化に関する事項)
- ◎自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す力
(話すこと・聞くこと)

課題となったところ

- ▲文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする力
(言葉の特徴や使い方に関する事項、読むこと)
- ▲古典を扱った文章において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える力
(我が国の言語文化に関する事項、読むこと)

今後の学校教育の中で

- ◆文章を読んで理解したことを、自分の知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。
 - ・自らの知識や経験を振り返り、条件に沿って話したり書いたりしているか？
 - 日常の読書活動においても、自らの知識と経験を結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることにつなげるようにする。
 - 普段から、必要感のある条件(相手、目的、字数、内容、構成、文末表記等)を設定したり生徒に考えさせたりしたうえで、書く活動を行う。また、書いた文章が条件に沿っているか推敲し、話し合う活動を行う。
- ◆古典文学において、文章の構成や展開、表現の特徴、効果について、根拠を明確にして考えることができるようにする。
 - ・複数の文章から、根拠を明確にして考えることができるか？
 - 古典の原文に、分かりやすい現代語訳や古典について解説した文章を教材に加えるなど、生徒の実態に応じて教材を工夫し、生徒が古典に親しめるようにする。
 - 授業の中で、着目している段落や部分に印を付けて見える化することにより、「根拠」や「表現の効果」等を意識付ける。

取手市立小学校 算数の結果



成果がみられたところ

- ◎ 伴って変わる二つの数量の関係について、表から変化の特徴を読み取り、必要な数を求める力（知識・技能）
- ◎ 「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取る力（知識・技能）

課題となったところ

- ▲ 正三角形の意味や性質を理解する力
（図形の構成の仕方を観察して図形について判断すること）
→ 示された操作の意味が理解できず、正三角形をつくるための角の大きさが 60° の半分になるということを捉えることができていない。
- ▲ $(2\text{位数}) \div (1\text{位数})$ の筆算について、図を基に各段階の商の意味を考察する力
（日常の事象を数理的に捉え数学的に表現・処理すること）
→ 除法の筆算が、被除数の66を60と6に分解して計算するという考え方が身に付いていない。

今後の学校教育の中で

- ◆ 目的の図形をつくるための操作の見通しを立てるようにすることを大切にする。
 - ・ 実際に手を動かしながら考えているか？
 - 定規やコンパスによる作図、角の大きさの測定、観察、実際に紙を折ったり切ったりするなどの活動を取り入れる。
 - 折り紙（正方形の紙）から正三角形を構成する活動を通して、正三角形の角の性質を確かめる。
- ◆ 筆算の仕方を図と関連付けて考察する場面を設定し、話し合う場面や説明する場面を設定する。
 - ・ 式・表・図・言葉を関連付ける活動をしているか？
 - 筆算を具体物や図に表すことで、式と関連付けて考察できるようにする。
 - 計算の意味や計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、工夫して計算できるようにする。

取手市立中学校 数学の結果



成果がみられたところ

- ◎問題場面における考察の対象を明確に捉える力
(知識・技能)
- ◎与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る力
(知識・技能)
- ◎目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する力(思考・判断・表現)

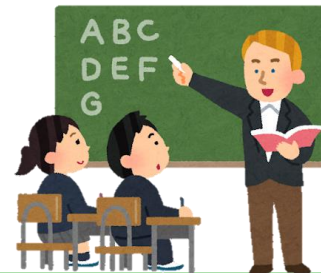
課題となったところ

- ▲空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解する力
(空間図形の理解)
→空間における平面が1つに決まる条件を理解していない。
- ▲ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明する力
(数学的表現を使った説明)
→構想を立て、それに基づいて仮定から結論を導く推論の過程を数学的に表現する力が身に付いていない。

今後の学校教育の中で

- ◆身の回りにある事象を図形として捉え考察することを通して、空間における平面について理解を深められるようにする。
 - ・事象を数・量・図形等に着目して観察しているか？
→「カメラの三脚が安定して立つことができるのはどうしてか？」といった身の回りにある事象から問題を設定し、その理由を考察して問題を解決する活動を工夫して行う。
→目的に応じて数学的な表現を用いながら説明し、伝え合う活動を工夫する。
- ◆事柄が成り立つことについて、構想を立て、それに基づいて証明することができるようにする。
 - ・構想を立ててから証明を書いているか？
→仮定から結論まで、何を、どの性質を根拠に、どんな順序で説明していくのかという証明の方針を確認するなど、証明の構想を立てる活動を設定する。
→証明を振り返り図形の性質を論理的に考察する活動を工夫して行う。

取手市立中学校 英語の結果



成果がみられたところ

- ◎情報を正確に聞き取る力 (知識・技能)
- ◎日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取る力 (思考・判断・表現)
- ◎社会的な話題について、短い説明の要点を捉える力 (思考・判断・表現)

課題となったところ

- ▲社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書く力 (思考・判断・表現)
- ▲疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書く力 (思考・判断・表現)
- ▲日常的な話題について、事案や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書く力 (思考・判断・表現)

今後の学校教育の中で

- ◆読んだことを基に自分の考えを書く際には、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて表現できるようにする。
 - ・読むことの活動と書くことの活動を別々に行っていないだろうか？
 - 教科書に取り上げられている話題に関する自分の意見や感想などを、スピーチの形式や新聞やホームページなどへの投稿文の形式で書く活動を設定する。
 - 自然環境、世界情勢、科学技術、平和などの話題に関して読んだ内容を踏まえて、自分の考えを正確に書く活動を設定する。
- ◆テーマについてまとまりのある文章を書くためには、テーマについて事実や考えを整理し、どのように書けばよりよく読み手に伝わるのかを考えながら書くことができるようにする。
 - ・語や文法事項等の理解だけにとどまっていないだろうか？
 - 学校生活や家庭生活について、電子メールや手紙、日記、レポートスピーチ原稿などの形式により、事実を伝えたり、出来事を描写したりしながら書く活動を設定する。

取手市立小中学校 児童生徒質問紙調査の結果



小学校児童質問紙の結果から



- 「朝食を毎日食べている」と答えた児童の割合が、全国・県と比較しても高いです。
- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と思う児童の割合が、昨年度より高くなり、全国・県と比較しても同じような割合です。
- ▲「自分にはよいところがある」と思う児童の割合が、昨年度より高くなりましたが、全国・県と比較すると低いです。
- ▲「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思う児童の割合が、全国・県と比較すると低いです。

中学校児童質問紙の結果から

- 朝食の摂取や就寝の時刻など、**基本的な生活習慣が身に付いている**と思っている生徒の割合が、全国・県と比較すると高いです。
- 「**困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる**」と感じている生徒の割合が、全国・県と比較すると高いです。
- ▲「自分にはよいところがある」と思う生徒の割合が、全国・県と比較すると低いです。
- ▲「**地域や社会をよくするために何かしてみたい**」と思う生徒の割合が、児童と同様、全国・県と比較すると低いです。

今後の学校教育の中で

「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思う児童生徒の割合が低いことから、コミュニティ・スクール等、地域とともにある学校づくりを推進します。また、地域や社会を愛し、貢献したいという気持ちを児童生徒に育ていけるよう、地域や社会に目を向けて生活したり、学んだりする学習活動の工夫、充実を進めます。

児童生徒の生活習慣と学力の関係

このような子供ほど、正答率が高い傾向にあります

※小中学生ともに同様の傾向が見られます。

- 規則正しい生活をしている児童生徒（朝食を毎日食べている。毎日、同じくらいの時刻に起きている・寝ている）
- 自分には、よいところがあると思っている児童生徒
- 人の役に立つ人間になりたいと思っている児童生徒
- 自分でやると決めたことを、やり遂げようとしている児童生徒
- 自分とは違う意見について考えるのは楽しいと思っている児童生徒
- 読書好きな児童生徒
- 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる児童生徒
- 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝えられるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している児童生徒



今後の学校教育の中で

「朝食を毎日食べてる」「決まった時間に寝たり起きたりする」など、基本的な生活習慣の定着を図ることや、「地域の行事に参加する」「ボランティア活動に参加する」などの様々な体験等を通じて、自分のよさに気付いたり、他者や地域の役に立とうと思う心や態度を養ったりすることは、広い意味での学力の定着・向上につながります。学校では、子供たち一人一人のよさを認めながら、自分に自信をもって困難なことにも積極的に挑戦しようとする心や態度を育むとともに、自ら課題を見つけ、自ら学び、問題を解決しようとする教育活動を展開していきます。